

要和考

別解(三)

嘆

願書

- 第一項 解雇牛当率引上タル事
 第二項 病氣退職牛当許正ノ件
 第三項 割増給及二十五才ノ牛當ヲ本給ニ縛入ル事
 第四項 工場内於ケル負傷牛当許正ノ件
 第五項 三十才以上勤續職工ニ適用セル病氣欠勤優遇法ヲ一般職ニ適用ノ件
 第六項 公休公母日曜月三連行セラシタリ
 第七項 食堂支詮場ヲ設施ラタス事

近時社會人狀勢ヲ見ルヒ他諸會社ニテハ解雇手当制度、制定有之候。其我工ナメル會社ニハ何等ノ施設制度ナク我之職工ハ老後病氣負傷等種々ナル災厄ノ場合ヲ想イ至ラハ其生活上不安ニ堪ヘズ故ニ嘆願書及呈出候也。

嘆

願

書

第一條 解雇手当制度制定ノ件

一、勤続六年未満ノモノ

自給ノ二十四分

二、全六ヶ月以上一年未満ノモノ

自給ノ五十白分

三、全一年以上五年未満ノモノ

自給ノ一百二十白分

四、勤続五年以上十年未満ノモノ

自給ノ一百二十白分

五、勤続十五年以上ノモノ

自給ノ一百四十白分

ナシタル為メ解雇セラシタルモノ
 ニ上司ノ命ヲ拒ミ悔ハノ状ナシト認メ解雇セラレタル者

三、爭鬭賭博放縱其他本社内風紀秩序ヲ亂ス行爲アリタル為メ解雇セラシタルモノ

大正十一年九月九日

以上

日本ナメル株式會社